新 明善寺 勉強会

平成30年度 第4回レジュメ

2019（平成31）年2月9日（土）

於：明善寺本堂

|  |
| --- |
| 【本日の内容】　Ⅰ．お経の練習「和讃」/知っておきたい仏事「弔電」 Ⅱ．正信偈の解説　その１１○七高僧の教え　曇鸞大師①その他、事務連絡 |

講師： 明善寺住職

Ⅰ．お経の練習「和讃」/知っておきたい仏事「弔電」

（１）和讃を練習しましょう。

＜ポイント「和讃」とは？＞おさらい

「和讃」とは、「和語をもって、讃嘆するうた」という意味です。親鸞聖人は、わかりやすく阿弥陀如来のみ教えを伝えようと、５００首をこえる今様形式の和讃を製作されました。特に下記３つをまとめて

「**三帖（さんじょう）和讃**」と呼びます。

**・『浄土和讃（阿弥陀如来とその浄土の徳を讃嘆）１１８首）』**

**・『高僧和讃（インド・中国・日本にわたる七高僧の教えを讃嘆）１１９首）』**

**・『正像末和讃（親鸞聖人最晩年の味わいをもって仏さまの徳を讃嘆）１１６首』**

「正信偈」に続けてお勤めする和讃としておなじみ「弥陀成仏のこのかたは」の和讃からの六首は、浄土和讃の最初にあります。本願寺では朝６時からのおつとめ（晨朝法要）において、三帖和讃を繰り読みしています。

（２）仏事の「弔電」について

**・葬儀に参列しても、弔電は出した方が良いのか？**

**・「ご冥福を祈る」という言葉をよく聞くが、浄土真宗に相応しいのか？**

みなさんとともに考えてみましょう。

Ⅱ．正信偈の解説　その11

＜正信偈の構成　おさらい＞

　【帰敬序】………「帰命無量寿如来 南無不可思議光」※親鸞聖人の信仰表明

【依[経](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%84%A1%E9%87%8F%E5%AF%BF%E7%B5%8C)段】

「[弥陀](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%98%BF%E5%BC%A5%E9%99%80%E5%A6%82%E6%9D%A5)章」…「法蔵菩薩因位時～必至滅度願成就」※阿弥陀如来の誓いと願い

「[釈迦](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%87%88%E8%BF%A6)章」**…**「如来所以興出世～難中之難無過斯」※釈迦如来の生まれた理由

【依釈段】

「総讃」……「印度西天之論家～明如来本誓応機」

「[龍樹](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%BE%8D%E6%A8%B9)章」…「釈迦如来楞伽山**～**応報大悲弘誓恩」

「[天親](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%96%E8%A6%AA)章」…「天親菩薩造論説～入生死薗示応化」

「[曇鸞](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9B%87%E9%B8%9E)章」…「**本師曇鸞梁天子**～諸有衆生皆普化」

「[道綽](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%81%93%E7%B6%BD)章」…「道綽決聖道難証～至安養界証妙果」

「[善導](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%96%84%E5%B0%8E)章」…「善導独明仏正意～即証法性之常楽」

「[源信](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%BA%90%E4%BF%A1_%28%E5%83%A7%E4%BE%B6%29)章」…「源信広開一代教～大悲無倦常照我」

「[源空](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B3%95%E7%84%B6)章」…「本師源空明仏教～必以信心為能入」

「結び」……「弘経大士宗師等～唯可信斯高僧説」

※【依釈段】とは、前回まで勉強した【依経段】すなはち、「阿弥陀如来の誓いと願い」や「釈迦如来が生まれた理由」から、浄土真宗の教えをインド・中国・日本に亘って伝えられた七人の高僧方を親鸞聖人がほめたたえられたものであります。

※釈とは、「お経を註釈した書物」という意味で、ここでは親鸞聖人が重視された七高僧の書物を指します。

【原文】

本師曇鸞梁天子　　本師曇鸞は、梁の天子

常向鸞処菩薩礼　　常に鸞の処に向いて「菩薩」と礼したてまつる

三蔵流支授浄教　　三蔵流支、浄教を授けしかば

焚焼仙経帰楽邦　　仙経を焚焼して楽邦に帰したまいき

【現代語訳】

曇鸞大師は、中国・梁の武帝が尊敬し、常に菩薩と仰がれた方である

菩提流支三蔵（インドの仏教学僧）から浄土教の経典を授けられたので、仙人の経を焼き捨て（焚焼）、阿弥陀仏の浄土の教えに帰入された。

【ポイント】

**・本師**・・・・・・ 親鸞聖人は曇鸞大師のことを「本宗の祖師」すなわち浄土真宗の祖師と考

えられた。

**・梁天子**・・・・・ 梁の初代皇帝、武帝のこと。中国、六朝時代の第1級の文化人といわれ、

歴代皇帝の中で最も熱心な仏教者であった。

**・三蔵**・・・・・・・経・律・論の三蔵に通じた学僧の総称

**・菩提流支**・・・・・[北インド](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%89)出身の髙[僧](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A8%B3%E7%B5%8C%E5%83%A7)。経典の翻訳に従事していた。

**・仙経**・・・・・・・長生不死の神仙術を説く道教の書。

[曇鸞](http://labo.wikidharma.org/index.php/%E6%9B%87%E9%B8%9E)大師は中国[六朝時代](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%AD%E6%9C%9D%E6%99%82%E4%BB%A3)の[医学者](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%BB%E5%AD%A6%E8%80%85)・[科学者](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A7%91%E5%AD%A6%E8%80%85)であり、[道教](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%81%93%E6%95%99)の[茅山(ぼうざん)派](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E8%8C%85%E5%B1%B1%E6%B4%BE&action=edit&redlink=1)の開祖、[陶隠居](http://labo.wikidharma.org/index.php/%E9%99%B6%E9%9A%A0%E5%B1%85)(とうこうけい)から仙経十巻を授けられた。

**・楽邦**・・・・・・・阿弥陀如来の浄土のこと

|  |
| --- |
| **春季彼岸会　：３月２１日（木・祝）****次回勉強会　：４月２０日（土）午後２時～予定****参拝バス旅行：５月２５日（土）予定** |

MEMO